

平成16年度 第32回 岐阜県高等学校選抜バスケットボール大会
 兼 第35回 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会県予選会
 最終日:平成16年11月7日(日)
 会場:関市わかさプラザ

男子の部

< 審判 >

準決勝 岐阜総合 111 $\left[\begin{array}{l} 25 - 16 \\ 28 - 25 \\ 28 - 19 \\ 30 - 29 \end{array} \right]$ 89 大垣商 棚橋英一・田中昭博

第1ピリオド、両チームともマンツーマンでスタートする。徐々にベスト4に進出した大垣商は、固さが見られ思うように得点できない。対する岐阜総合は、梅田の連続3点シュートを皮切りに効率よく外角シュートが決まり、主導権を握る。第2ピリオド、大垣商は安藤の1on1、松岡の外角シュートを中心に追い上げを図り、一進一退の攻防が続いた。残り1分、岐阜総合のファウルが続いたところで、大垣商がフリースローを確実に決め、流れが傾きかけたところで前半を終了する。

第3ピリオドに入ると、岐阜総合はディフェンスを1-1-3のゾーンに変え、相手のミス誘っては速攻につなげ、原(敬)、杉本らがシュートを決め、大きく点差を広げた。第4ピリオド、大垣商はメンバーチェンジを繰り返してはオールコートプレスを仕掛けてプレッシャーを強め、必死に追い上げを図る。しかし岐阜総合はベンチメンバーを全員出場させる余裕を見せ、相手の反撃を振り切って決勝へと駒を進めた。(宮崎泰彦)

準決勝 長良 91 $\left[\begin{array}{l} 20 - 20 \\ 14 - 21 \\ 27 - 14 \\ 30 - 20 \end{array} \right]$ 75 岐阜農林 藤浪元明・杉山広之

岐阜農林マンツーマン、長良3-2ゾーンディフェンスでスタートする。岐阜農林は二村のアウトサイドのジャンプシュートで得点をあげるのに対し、長良は浅野の1on1や秋田のポストプレーで得点を重ね、第1ピリオドはまったく互角の競り合いとなる。第2ピリオドに入り、岐阜農林は積極的にオフェンスリバウンドを奪うと、ドライブインなどで得点を奪い、守っても粘り強いディフェンスで相手の高さを封じて、7点のリードで前半を折り返す。

後半に入ると流れが一変し、岐阜農林のアウトサイドシュートがごとごとく外れ、リズムが狂ってくるのに対し、長良は秋田のインサイドプレー、栗田のシュートで逆転に成功し、6点のリードを奪って第4ピリオドを迎える。岐阜農林は流れを取り戻そうと2-3ゾーン、オールコートマンツーマンとディフェンスを変えるが、相手のゾーンを攻めきれない。長良は相手のディフェンスの変化にも冷静に対応し、浅野、栗田を中心に得点を重ね、さらに点差を広げる。終始安定したゲーム運びで得点を伸ばした長良が勝利を収め、決勝へと向かった。(清水 潤)

決勝 岐阜総合 110 $\left[\begin{array}{l} 31 - 22 \\ 22 - 27 \\ 37 - 21 \\ 20 - 31 \end{array} \right]$ 101 長良 増田博徳・松野瑞穂

第1ピリオド、岐阜総合はマンツーマン、長良は3-2ゾーンでスタート。岐阜総合はリバウンドルーズボールを奪っては速い展開に持ち込み得点を重ねる。対する長良は秋田のインサイドプレーを中心に得点を重ね、互角の展開ながら岐阜総合が一步リードする。第2ピリオド、岐阜総合はディフェンスを1-1-3のゾーンに変え、激しいディフェンスから梅田、原(敬)を中心に速攻に出て、一気に差を広げた。しかし長良は要所で浅野、小澤の3点シュートなどで応戦して追い上げ、53-49と岐阜総合が4点リードで前半を終了した。

第3ピリオド開始から、岐阜総合のスピードある攻撃が成功し、残り3分には20点のリードを奪う。長良も秋田のインサイド、ミドルシュートが確実に決まり、追い上げを図るが、岐阜総合の勢いは止まらず90-70と大差をつけた。第4ピリオドに入ると、長良は浅野の2本の3点シュート、栗田のリバウンドシュート、秋田のポストプレーで、一気に4点差まで詰める。残り1分、岐阜総合は梅田のドライブとミドルシュート、新川の3点シュートが決まり、再び10点のリードを奪い勝負を決定づける。速攻と高いシュート力を武器にどこからでも得点をあげた岐阜総合が、2年連続で県高校選抜を勝ち抜き、全国高校選抜大会(ウィンターカップ)の出場権を獲得した。(宮崎泰彦)

女子の部

<審判>

準決勝 岐阜女子 119 $\left[\begin{array}{l} 32 - 9 \\ 38 - 4 \\ 23 - 19 \\ 26 - 14 \end{array} \right]$ 46 多治見西 宮崎泰彦・清水 潤

第1ピリオド、ディフェンスは岐阜女子がハーフコートマンツーマン、多治見西はハーフコート1-1-3ゾーンで始まる。岐阜女子は、王(190cm)、富崎(179cm)がリバウンドを奪っては、岩田、服部への速攻が次々に決まり、第1ピリオドで32-9、前半終了時には70-13と相手を圧倒し、優位にゲームを進める。

後半に入ると、多治見西はディフェンスをマンツーマンに変えるなどして粘り強く守り、攻めても熊崎の3点シュートを軸に反撃を試みるが、高さの差を埋めるまでには至らない。結局、岐阜女子が高さ、速さともに力の差を見せ、119-46と圧勝し決勝進出を決めた。(大橋了嗣)

準決勝 県岐阜商 58 $\left[\begin{array}{l} 20 - 14 \\ 14 - 7 \\ 14 - 6 \\ 10 - 22 \end{array} \right]$ 49 高山西 神山元秀・長屋 貴

両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。第1ピリオド、県岐阜商は柴田(朋)、柴田(ひ)を中心に攻め得点を重ねる。対する高山西は、出だしの動きが固くターンオーバーが目立った。第1ピリオドは20-14と県岐阜商が6点のリード。第2ピリオド、県岐阜商は柴田(ひ)が連続してファウルを犯す。高山西はフリースローや岩佐の1on1で1点差まで詰め寄るが、県岐阜商は柴田(朋)、加藤の1on1や速攻が効果的に決まり、34-21とリードして前半を折り返した。

後半に入り、両チームともディフェンスをゾーンに変える。県岐阜商は加藤の3点シュートと柴田(朋)のミドルシュートなど速い展開のオフェンスで点差を広げていく。第4ピリオド、県岐阜商はターンオーバーが続いて4分間ノーゴール。高山西は岩佐の1on1と3点シュート、田近の3点シュートなどで残り2分には7点差まで詰め寄る。しかしチームファウルが5つとなり、県岐阜商はフリースローを確実に決める。結局58-49で県岐阜商が逃げ切って決勝進出を決めた。(長谷川あゆみ)

決勝 岐阜女子 104 $\left[\begin{array}{l} 26 - 16 \\ 28 - 18 \\ 30 - 12 \\ 20 - 22 \end{array} \right]$ 68 県岐阜商 室谷伸治・小牧秀則

両チームともハーフコートマンツーマンでゲームが始まる。岐阜女子は服部のドライブインで流れをつかむと、県岐阜商も岩田の連続3点シュートで得点し、第1ピリオドは26-16と岐阜女子が10点リードで終了する。第2ピリオドに入ると、岐阜女子は宮元、岩田のポストプレーや外角シュートで確実に得点を重ねる。県岐阜商も加藤、柴田(朋)の3点シュートで応戦するが、次第に点差が離れ、54-34と岐阜女子が20点リードで前半を終了する。

後半に入っても、岐阜女子は王のポストプレーや富崎のリバウンドシュートでゴール下を支配し、ゲームの主導権を渡さない。県岐阜商もディフェンスを3-2ゾーンに変え、粘り強い守りから速攻に走るものの、インサイドでは簡単にシュートを打たせてもらえず、アウトサイドシュートでしか得点できない。最後は高さスピードに優る岐阜女子が、104-68の大差で13年連続の優勝を飾り、ベスト8以上の成績を目指して全国大会に挑む。(岩永英夫)